

置賜定住自立圏構想

広域連携に取り組みます

本市は、置賜2市5町と、定住自立圏の形成に向けて協議を続けてきました。この度、各市町議会の6月定例会において、定住自立圏形成協定の締結に関する議案がそろって可決されたことを受け、8市町長が一堂に会し、協定を締結しました。

今後、各市町の住民代表や、連携事項に関する団体などの代表者からなる懇談会を開催し、圏域の将来像や具体的な取組事業などを「定住自立圏共生ビジョン」としてまとめ、平成31年度からは、このビジョンに基づき具体的な事業を開始する予定です。

用語解説

【定住自立圏構想】

近隣の市町村が、それぞれの都市機能や魅力を活用して、相互に役割を分担し連携・協力することで、圏域全体として必要な生活機能などを確保し、地方圏への人口定住を促進する国の施策です。

【定住自立圏形成協定】

中心市宣言を行った中心市と、連携する近隣市町村が、人口定住のために必要な生活機能の確保に向け、1対1の関係で個別に協定を締結するものです。

※本市は今年2月に中心市宣言を行っています。

近隣市町と連携する政策分野ごとの取組事業

政策分野	協定項目	
生活機能の強化	医療	地域医療体制の充実
	福祉	子育て支援の充実
		福祉・健康事業の充実
	教育	教育環境・生涯学習の充実
	産業振興	農畜産物等の振興
		米沢牛の振興
		商工業の活性化と雇用促進
	環境	広域観光の推進
	環境	環境の保全
	水道	圏域内水道の広域連携等の検討
消防・防災	消防・防災体制の強化	
結びつきやネットワークの強化	交通	交通ネットワーク等の維持・整備
	移住・定住・交流	移住・定住・交流等の推進
圏域マネジメント能力の強化	職員等の交流	職員研修及び交流

【写真(左から)】 後藤幸平 飯豊町長、仁科洋一 小国町長、寒河江信 高島町長、内谷重治 長井市長、中川勝 米沢市長、白岩孝夫 南陽市長、原田俊二 川西町長、佐藤誠七 白鷹町長

